

● 竹野川水系では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、府、市が一体となって、以下のとおり「流域治水」を推進し、流域全体の安全度の向上・保全等を図る。

【短期】 河川整備により、河川の断面を広げるとともに、「治山施設の整備」や「マイ・タイムライン等の作成・推進」等を実施する。

【中長期】 河川整備により、さらなる流下能力の向上を図るとともに、「洪水ハザードマップ作成・周知」や「要配慮者利用施設における避難の実効性の確保」等のソフト対策を実施する。

区分	主な対策内容	実施主体	工程 (▬ 対策実施中 ▬ 対策完成)	
			短期 (令和4年度～令和8年度)	中長期 (令和9年度～令和33年度)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	河川等整備	京都府、京丹後市	▬	▬ 竹野川河道拡幅完成
	河川等の維持管理	京都府、京丹後市	▬	▬
	土砂災害を防止する施設の整備・維持	京都府	▬ 川向橋撤去完成	▬
	流域の雨水貯留機能の向上・保全	京都府	▬ 谷内急傾斜地崩壊対策事業完成	▬
被害対象を減少させるための対策	霞堤の機能保全	京都府	▬	▬
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	水災害リスク情報空白地帯の解消	京都府、京丹後市	▬	▬
	住民の水害リスクに対する理解促進の取組	京都府、京丹後市	▬ ため池ハザードマップ作成	▬
	土砂災害警戒区域等の指定	京都府	▬	▬
	避難行動に資する情報発信等の高度化及び防災情報の充実	京都府、京丹後市	▬	▬
	確実な避難行動の実施	京丹後市	▬	▬
	排水ポンプ車出動要請の連絡体制の整備、排水計画に基づく排水訓練の実施	京都府	▬	▬

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

■河川対策

事業費 約37.2億円※

対策内容 河道拡幅、築堤 等

※令和3年度以降の河川整備計画の残事業費を記載

※スケジュールは今後の事業進捗の状況によって変更となる場合がある。